

平成 29 年度

市政に関する意識調査

平成 29 年度

福岡市

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査の性格	1
4. 標本の構成	2
5. 調査結果利用上の注意	6
6. 適合度の検定	7
II. 調査結果	9
1. 「住みやすさ」に関する調査結果の統括	9
2. 「住みやすさ」に関する調査結果	20
(1) 福岡市が好きかどうか	20
(2) 総合的な福岡市の住みやすさ	23
(3) 福岡市にずっと住み続けたいと思うか	26
(4) 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか	29
(5) 福岡市の都市環境等に関する満足度	32
3. 「防災」に関する調査結果の総括	41
4. 「防災」に関する調査結果	50
(1) 現在住んでいる地域の災害に対する安全性	50
(2) 日ごろ不安に思っている災害	54
(3) 大規模地震発生直後に不安を感じる事	60
(4) 大規模地震に遭遇した場合に日常生活で不安を感じる事	65
(5) 地震に対して備えていることの有無	69
(6) 地震に伴う災害に備えていること	75
(7) 最低でも3日分、各家庭における食料や生活必需品の備蓄が 推奨されていることの認知度	79
(8) 地震に備えた備蓄の有無	81
(9) 備蓄している品目	83
(10) 備蓄の分量	87
(11) 地震に備えた備蓄をしていない理由	90
(12) 地域の指定避難所の認知	93
(13) 避難が必要になった場合の避難先	99
(14) 避難訓練の実施、避難場所・避難経路・緊急連絡先の確認等の有無	101
(15) 災害関連情報を入手したい手段	104
(16) 「自主防災組織」の認知度	106

（１７）地域の自主防災組織の活動に参加した経験・参加意向	111
（１８）「避難行動要支援者名簿」作成の認知度	113
（１９）特に力を入れていくべき行政が行う防災対策	115
５．「福岡の歴史や文化財」に関する調査結果の総括	119
６．「福岡の歴史や文化財」に関する調査結果	124
（１）歴史や文化財への関心の有無	124
（２）関心を持っている文化財	127
（３）文化財に関心がない理由	129
（４）知っている福岡市の文化財	131
（５）福岡市に所在する文化財の認知・訪問経験	134
（６）文化財を知った媒体・機会	139
（７）観光資源として魅力的な福岡市が管理する文化財	141
（８）福岡市の文化財に関心をもつために市がすべきこと	144
（９）県外の友人・知人にすすめたい福岡県内の歴史に関わる観光名所	148
（１０）文化財を保護する活動への参加意向	150
（１１）参加したい文化財を保護する活動	153
（１２）文化財を保護する活動に参加したいと思わない理由	155
（１３）「福岡みんなの城基金」の認知	157
（１４）市が行うことが望ましい文化財の保存・活用のための事業	159
（１５）文化財をまちづくりや観光振興、地域振興に活用すべき主体	161
（１６）文化財を守り伝えるべき主体	163
（１７）福岡市の文化財を社会に役立てていくにあたり、市が目指すべき方向性	165
Ⅲ．調査票	169

I. 調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、市民の市政についての意見や評価を、科学的、統計的に把握し、今後の市政を推進する上での基礎資料にするもの。

2. 調査項目

- (1) 福岡市の住みやすさについて
- (2) 防災について
- (3) 福岡の歴史や文化財について

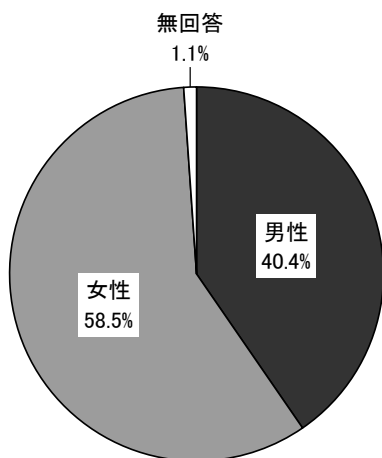
3. 調査の性格

- (1) 調査地域 福岡市全域
- (2) 調査対象者 福岡市内に居住する満 18 歳以上の男女
- (3) 調査対象者数 4,500 サンプル（回収 2,450 サンプル，回収率 54.4%）
- (4) 抽出方法 住民基本台帳による無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送法
- (6) 調査期間 平成 29 年 6 月 15 日～6 月 30 日
- (7) 調査主体 福岡市 市長室広聴課
- (8) 調査実施機関 株式会社サーベイリサーチセンター 九州事務所
- (9) 調査結果分析 総括執筆・各論監修
 - 調査項目(1) 九州産業大学 経営学部 産業経営学科
准教授 山下 永子
 - 調査項目(2) 九州大学大学院 工学研究院 附属アジア防災研究センター
教授 橋本 典明
 - 調査項目(3) 公益財団法人 福岡アジア都市研究所
特別研究員 岡田 允

4. 標本の構成

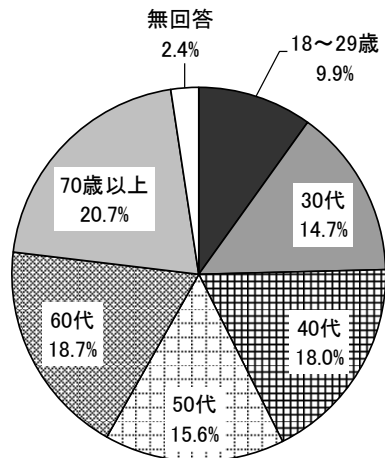
(1) 標本の全体構成

<性別>



全体(N=2,450)

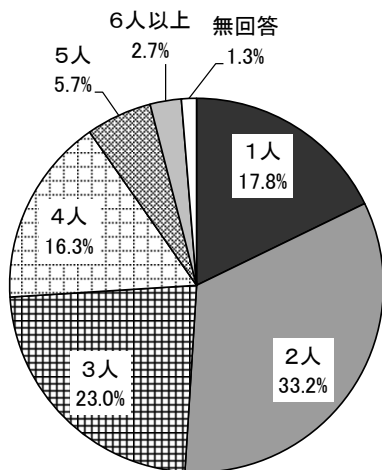
<年代別>



※平均
53.5歳

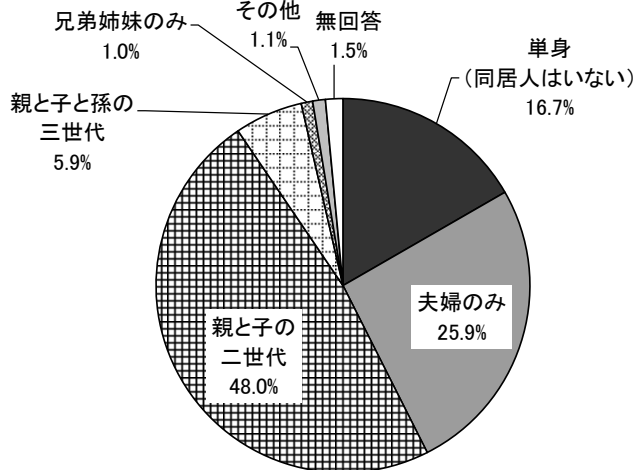
全体(N=2,450)

<家族数別(同居)>



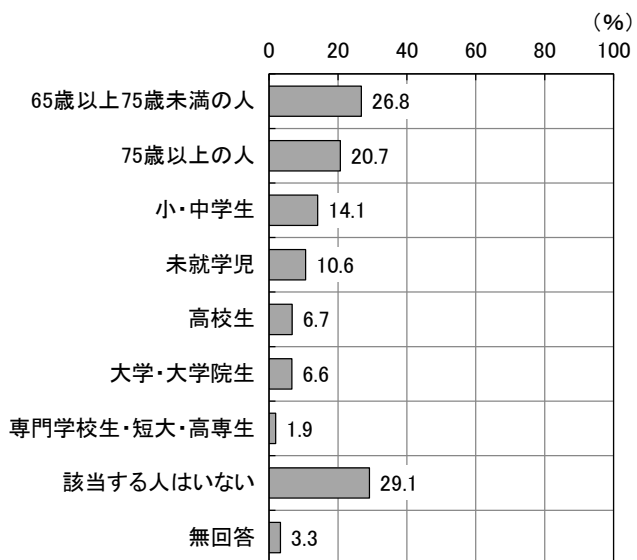
全体(N=2,450)

<家族構成別>



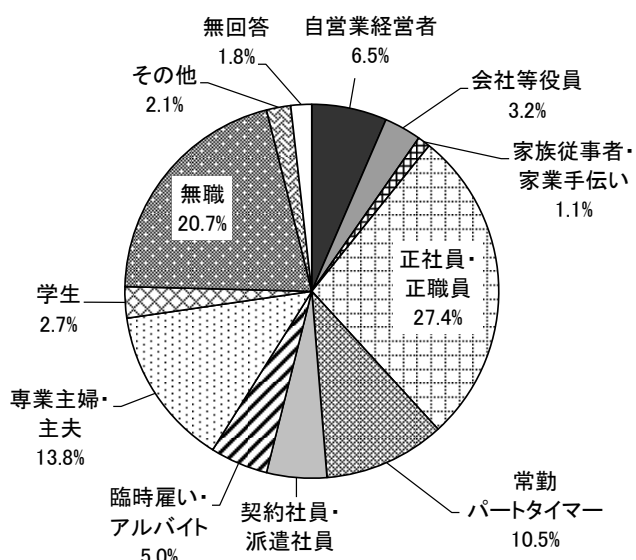
全体(N=2,450)

<同居している家族(複数回答)>

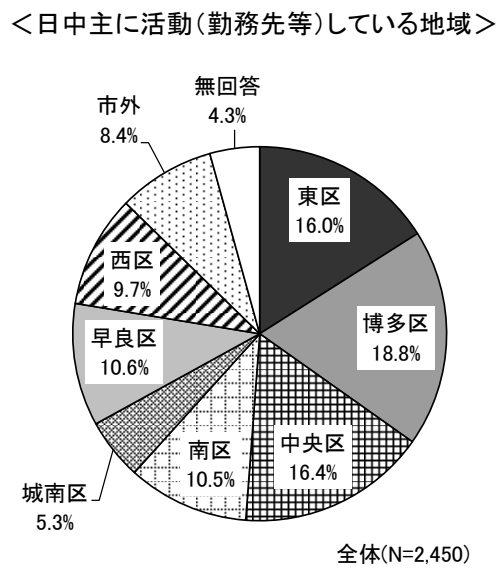
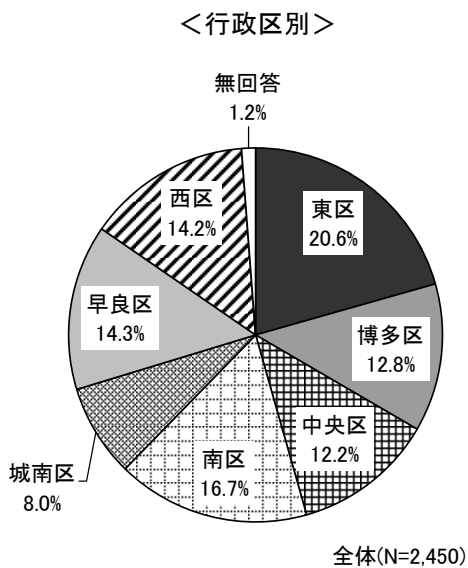
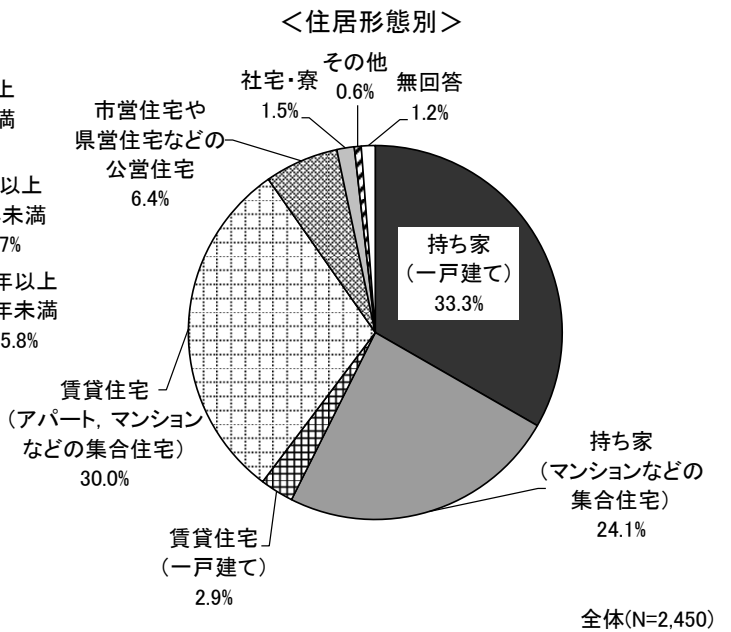
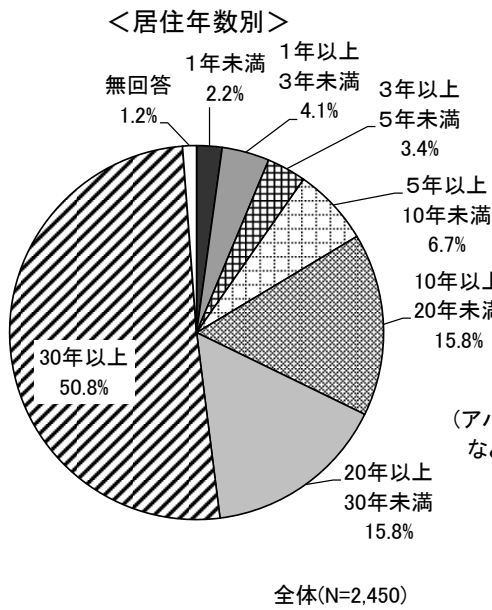


全体(N=2,450)

<職業別>



全体(N=2,450)



<行政区別にみた日中の主な活動地域>

	全 体	日中の主な活動地域別								
		東 区	博 多 区	中 央 区	南 区	城 南 区	早 良 区	西 区	市 外	無 回 答
全 体 ()は実数を示す	100.0 (2,450)	16.0 (391)	18.8 (461)	16.4 (403)	10.5 (257)	5.3 (130)	10.6 (260)	9.7 (237)	8.4 (206)	4.3 (105)
行 政 区 別										
東区	20.6	65.5	11.7	6.2	0.8	0.4	0.8	0.4	11.7	2.6
博多区	12.8	5.1	67.5	7.0	3.8	-	1.3	-	12.4	2.9
中央区	12.2	3.3	15.1	63.9	1.7	1.0	2.3	3.0	7.7	2.0
南区	16.7	2.7	13.4	13.4	52.7	1.5	2.0	0.5	9.5	4.4
城南区	8.0	2.1	11.8	14.4	3.6	54.4	3.6	2.6	3.1	4.6
早良区	14.3	3.4	7.1	12.0	2.3	2.9	59.1	5.1	5.1	2.9
西区	14.2	2.3	11.8	9.2	1.4	0.9	6.6	57.8	6.3	3.7
無回答	1.2	-	3.3	6.7	-	-	-	-	-	90.0

(2) 属性別にみた行政区の標本構成

単位：%

	全 体	行政 区 別								
		東 区	博 多 区	中 央 区	南 区	城 南 区	早 良 区	西 区	無 回 答	
全 体 ()は実数を示す	100.0 (2,450)	20.6 (504)	12.8 (314)	12.2 (299)	16.7 (410)	8.0 (195)	14.3 (350)	14.2 (348)	1.2 (30)	
性 別	男性	40.4	21.3	13.3	10.8	17.7	7.4	14.2	15.2	0.1
	女性	58.5	20.4	12.7	13.4	16.3	8.5	14.6	13.8	0.2
	無回答	1.1	-	-	-	3.7	-	-	-	96.3
年 代 別	18～29歳	9.9	23.9	19.3	12.3	14.8	6.2	10.7	12.3	0.4
	30代	14.7	18.6	15.6	17.5	16.4	7.8	11.4	12.8	-
	40代	18.0	20.5	11.6	12.5	17.7	6.1	18.4	13.2	-
	50代	15.6	18.3	12.0	14.9	19.1	8.6	13.1	13.9	-
	60代	18.7	21.2	10.9	9.4	14.4	8.5	15.9	19.7	-
	70歳以上	20.7	23.1	12.0	9.1	17.8	9.9	14.6	13.2	0.4
	無回答	2.4	8.3	5.0	8.3	13.3	5.0	8.3	6.7	45.0
家 族 数 別	1人	17.8	19.9	20.4	18.8	12.4	8.5	8.7	10.8	0.7
	2人	33.2	18.4	10.9	11.7	19.7	7.9	17.8	13.6	-
	3人	23.0	19.9	12.6	12.3	16.2	9.8	13.9	15.5	-
	4人	16.3	27.1	12.5	9.0	17.3	4.8	14.0	15.0	0.3
	5人	5.7	20.0	7.1	7.9	20.0	9.3	12.1	23.6	-
	6人以上	2.7	27.3	4.5	7.6	12.1	9.1	24.2	15.2	-
	無回答	1.3	3.2	6.5	3.2	-	3.2	-	-	83.9
家 族 構 成 別	単身(同居人はいない)	16.7	20.7	20.5	19.3	11.2	8.5	8.8	10.5	0.5
	夫婦のみ	25.9	17.5	11.8	10.9	20.5	8.8	17.8	12.6	-
	親と子の二世帯	48.0	21.5	10.9	11.7	16.7	7.8	15.0	16.3	0.1
	親と子と孫の三世帯	5.9	26.4	11.8	3.5	19.4	6.9	13.9	18.1	-
	兄弟姉妹のみ	1.0	36.0	12.0	8.0	20.0	8.0	8.0	8.0	-
	その他	1.1	19.2	23.1	19.2	11.5	-	7.7	15.4	3.8
	無回答	1.5	8.3	2.8	2.8	5.6	-	2.8	5.6	72.2
同 居 家 族 別	未就学児	10.6	19.3	12.0	13.1	16.2	9.3	14.7	15.4	-
	小・中学生	14.1	23.7	9.5	8.7	17.3	5.5	18.8	16.2	0.3
	高校生	6.7	22.1	11.0	9.2	16.0	5.5	16.6	19.0	0.6
	専門学校生・短大・高専生	1.9	21.3	10.6	10.6	17.0	10.6	8.5	21.3	-
	大学・大学院生	6.6	23.6	9.9	11.8	16.1	5.6	18.0	14.9	-
	65歳以上75歳未満の人	26.8	23.0	9.3	8.2	15.9	8.2	16.2	19.2	-
	75歳以上の人	20.7	21.9	11.7	9.1	19.0	11.3	13.2	13.4	0.4
	該当する人はいない	29.1	18.4	16.4	16.4	17.8	7.6	12.8	10.4	0.1
無回答	3.3	9.8	20.7	15.9	8.5	2.4	4.9	6.1	31.7	

※「同居家族別」は複数回答のため、合計値が100%を超える。

単位：%

	全 体	行政 区 別								
		東 区	博 多 区	中 央 区	南 区	城 南 区	早 良 区	西 区	無 回 答	
全 体 ()は実数を示す	100.0 (2,450)	20.6 (504)	12.8 (314)	12.2 (299)	16.7 (410)	8.0 (195)	14.3 (350)	14.2 (348)	1.2 (30)	
職 業 別	自営業経営者	6.5	11.3	16.4	15.7	23.3	4.4	13.8	15.1	-
	会社等役員	3.2	19.0	7.6	25.3	17.7	8.9	10.1	11.4	-
	家族従事者・家業手伝い	1.1	25.0	7.1	10.7	21.4	3.6	25.0	7.1	-
	正社員・正職員	27.4	19.4	15.9	15.8	16.7	7.0	12.1	13.0	0.1
	常勤パートタイマー	10.5	25.3	14.4	9.7	16.0	8.2	12.8	13.6	-
	契約社員・派遣社員	5.2	17.3	13.4	14.2	18.1	6.3	14.2	15.7	0.8
	臨時雇い・アルバイト	5.0	21.1	12.2	6.5	17.9	8.1	22.0	12.2	-
	専業主婦・主夫	13.8	16.9	8.9	10.1	16.0	10.4	21.1	16.6	-
	学生	2.7	26.2	9.2	7.7	16.9	9.2	13.8	16.9	-
	無職	20.7	25.8	12.6	9.3	15.0	9.8	12.2	15.2	0.2
	その他	2.1	25.5	7.8	11.8	21.6	3.9	13.7	15.7	-
無回答	1.8	6.7	-	4.4	6.7	2.2	11.1	8.9	60.0	
居 住 年 数 別	1年未満	2.2	21.8	25.5	20.0	10.9	-	7.3	14.5	-
	1年以上3年未満	4.1	18.8	12.9	12.9	12.9	7.9	14.9	18.8	1.0
	3年以上5年未満	3.4	24.1	13.3	20.5	10.8	4.8	13.3	13.3	-
	5年以上10年未満	6.7	17.8	17.8	17.2	17.2	8.6	11.0	10.4	-
	10年以上20年未満	15.8	19.4	15.5	17.6	16.3	6.5	11.4	13.0	0.3
	20年以上30年未満	15.8	18.0	13.1	13.7	16.8	7.7	14.2	16.0	0.5
	30年以上	50.8	22.4	10.9	8.7	18.1	9.2	16.2	14.5	-
	無回答	1.2	-	-	3.4	3.4	-	3.4	-	89.7
住 居 形 態 別	持ち家(一戸建て)	33.3	23.2	6.5	4.3	19.5	9.4	17.2	19.9	-
	持ち家(集合住宅)	24.1	18.5	14.4	20.5	15.1	6.1	12.9	12.5	-
	賃貸住宅(一戸建て)	2.9	34.7	6.9	2.8	26.4	11.1	6.9	9.7	1.4
	賃貸住宅(集合住宅)	30.0	17.7	18.3	15.9	16.7	8.2	12.6	10.3	0.3
	公営住宅	6.4	24.2	16.6	8.3	8.9	8.9	17.8	15.3	-
	社宅・寮	1.5	25.0	13.9	22.2	11.1	-	13.9	13.9	-
	その他	0.6	28.6	35.7	14.3	7.1	-	7.1	-	7.1
	無回答	1.2	-	-	3.3	3.3	-	6.7	-	86.7
日 中 の 活 動 地 域 別	東区	16.0	84.4	4.1	2.6	2.8	1.0	3.1	2.0	-
	博多区	18.8	12.8	46.0	9.8	11.9	5.0	5.4	8.9	0.2
	中央区	16.4	7.7	5.5	47.4	13.6	6.9	10.4	7.9	0.5
	南区	10.5	1.6	4.7	1.9	84.0	2.7	3.1	1.9	-
	城南区	5.3	1.5	-	2.3	4.6	81.5	7.7	2.3	-
	早良区	10.6	1.5	1.5	2.7	3.1	2.7	79.6	8.8	-
	西区	9.7	0.8	-	3.8	0.8	2.1	7.6	84.8	-
	市外	8.4	28.6	18.9	11.2	18.9	2.9	8.7	10.7	-
	無回答	4.3	12.4	8.6	5.7	17.1	8.6	9.5	12.4	25.7

5. 調査結果利用上の注意

- (1) 単数回答の集計については、設問ごとに無回答の項目を設けて、これを含めた全体の基数（標本数）を 100%としている。なお、回答率は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも 100%にならない場合がある。
- (2) 複数の回答を選べる（複数選択）質問の集計については、項目別に、基数（標本数）に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。従って、その回答比率の合計は 100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示す N, n は、回答率算出上の基数（標本数）である。
N = 標本全数
n = 該当数（その質問を回答しなくてよい人を除いた数）
- (4) 数表、図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を短縮して表記している場合があるので、詳細は巻末の調査票を参照のこと。
- (5) 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち、2 つ以上のものを合計して表す場合は『 』としている。
- (6) 2 つ以上の選択肢を合計して表している比率については、各選択肢の割合を合計している。
- (7) 属性別の分析等において、基数（標本数）が少ないものについては、分析コメントを割愛する場合がある。
- (8) 各属性別の集計結果の最高値には網掛けを行っている。

6. 適合度の検定

本調査の標本は無作為抽出法により抽出されているため、調査結果は調査対象集団（母集団）の縮図になっているはずである。しかしながら、調査の過程で標本の一部には回答を得られなかったものもあり、場合によっては調査対象集団（母集団）の縮図にならないこともあり得る。そこで、得られた対象集団が調査対象集団（母集団）の縮図とみなすことができるかどうかの検討（適合度の検定）を行うため、行政区別、性別、年代別について χ^2 （カイ2乗）検定を行った。

カイ2乗検定では、以下に示す数式で求めた値と、表の自由度(F)と許せる危険率(有意水準と呼ぶこともある)に対応する χ^2 の値を比較し、統計学的な有意性があるかどうかを判定する。

$$\chi^2_0 \text{ (理論と実際の食い違いの測定)} = \frac{(\text{期待値} - \text{実現値})^2}{\text{期待値}} \text{ の総和}$$

■ χ^2 の分布表（一部）

P \ F	.99	.98	.95	.90	.80	.50	.20	.10	.05	.02	.01
1	0.000157	0.000628	0.00393	0.0158	0.0642	0.455	1.642	2.706	3.841	5.412	6.635
2	0.0201	0.0404	0.103	0.211	0.446	1.386	3.219	4.605	5.991	7.824	9.210
3	0.115	0.185	0.352	0.584	1.005	2.366	4.642	6.251	7.815	9.837	11.345
4	0.297	0.429	0.711	1.064	1.649	3.357	5.989	7.779	9.488	11.668	13.277
5	0.554	0.752	1.145	1.610	2.343	4.351	7.289	9.236	11.070	13.388	15.086
6	0.872	1.134	1.635	2.204	3.070	5.348	8.558	10.645	12.592	15.033	16.812
7	1.239	1.564	2.167	2.833	3.822	6.346	9.803	12.017	14.067	16.622	18.475
8	1.646	2.032	2.733	3.490	4.594	7.344	11.030	13.362	15.507	18.168	20.090
9	2.088	2.532	3.325	4.168	5.380	8.343	12.242	14.684	16.919	19.679	21.666
10	2.558	3.059	3.940	4.865	6.179	9.342	13.442	15.987	18.307	21.161	23.209

(以下省略)

※P=危険率

F=自由度(カテゴリ数-1)

世論調査では危険率を1%(0.01)、あるいは5%(0.05)とするのが一般的であるが、ここでは危険率を1%に設定し、計算された χ^2_0 の値がP:0.01に対応する χ^2 の値以下になれば、統計的にみて「危険率1%で有意差がない」とする。

■標本の期待値，実現値

		実現値(回答数)		期待値	住民基本台帳人口 (平成29年7月末日現在)		χ^2_0
		実数	比率		実数	比率	
行政区別	東区	504	20.8	482	253,297	19.9	1.004
	博多区	314	13.0	373	196,739	15.4	9.332
	中央区	299	12.4	305	160,994	12.6	0.118
	南区	410	16.9	409	215,908	16.9	0.002
	城南区	195	8.1	196	103,516	8.1	0.005
	早良区	350	14.5	336	177,505	13.9	0.583
	西区	348	14.4	319	168,001	13.2	2.636
	計	2,420	100.0	2,420	1,275,960	100.0	13.680
性別	男性	989	40.8	1,132	596,064	46.7	18.064
	女性	1,434	59.2	1,291	679,896	53.3	15.840
	計	2,423	100.0	2,423	1,275,960	100.0	33.904
年代別	18～29歳	243	10.2	421	224,717	17.6	75.259
	30代	360	15.1	423	226,235	17.7	9.383
	40代	440	18.4	452	240,679	18.9	0.319
	50代	382	16.0	337	180,050	14.1	6.009
	60代	458	19.2	347	185,462	14.5	35.507
	70歳以上	507	21.2	409	218,817	17.1	23.482
	計	2,390	100.0	2,389	1,275,960	100.0	149.959

検定の結果，行政区別（ $F = 6$ ）の場合， χ^2_0 値は 13.680 で， $\chi^2_0 < \chi^2_{0.01} (=16.812)$ となり，母集団と本調査の標本は行政区別の構成比と差がないと判断される。また，性別（ $F = 1$ ）の χ^2_0 の値は，33.904 であることから， $\chi^2_0 > \chi^2_{0.01} (=6.635)$ となり，母集団と本調査の標本は性別の構成比と差があると判断される。これは期待値に比べて男性の回答者が少なく，逆に女性の回答者が多いためである。また，年代別（ $F = 5$ ）においても χ^2_0 の値が 149.959 で $\chi^2_0 > \chi^2_{0.01} (=15.086)$ となり，母集団と本調査の標本は年代別の構成比と差があると判断される。これは期待値に比べて 18～29 歳を中心に若い年代層のサンプルが少なく，50 代以上のサンプルが多いためである。

以上の検定の結果から，本調査における標本の特性は性別，年代別の構成比について調査対象母集団の構成比と差があることになる。今回の調査結果については，この検定内容を踏まえた上での考察であることをあらかじめ注意する必要がある。